

しあさい



津軽海峡と桑畑山を背にした尻屋崎灯台

CONTENTS

- ふるさと歴史探訪:旧石器時代2
- 明日へのかけはし:岩屋漁業協同組合婦人部4
- クローズアップ こんにちは元氣さん: かめお たかし 亀尾 喬さん4
- これ!うっまあ!!:東通牛のんにくソース丼/ブルーベリージャム 生サンド 5
- 灯台ワールドサミット in 東通6



東通村イメージキャラクター
かんだちくん



THE TOPIC

東通村を 知る

東通村歴史民俗資料館の展示物を中心に東通村および下北半島の歴史をひもとく「ふるさと歴史探訪」。東通村教育委員会監修のもと、小山卓臣^{こやまたかおみ}学芸員にご協力いただき、2回目の今回は「旧石器時代」を特集します。貴重な文化財から、ふるさとの魅力を再発見していただければと思います。

東通村の旧石器時代

旧石器時代は、氷河期の厳しい環境の中、石器を使って狩りを行い、移動しながら暮らしていた時代です。木の実など食料となる植物が少なく、ナウマンゾウなどの大型獣を獲る生活が一般的と考えられてきました。しかし、東通村から出土したライオンやウサギなどの骨の資料から、人々が小動物も獲って生活を営んでいたことが判明。この発見は、日本の旧石器時代の暮らしを見直す重要な成果として注目されています。

前回の「太古の自然や生き物」に引き続き、今回は東通村内の旧石器時代に迫ります！



遺跡の分布図

vol.2

旧石器時代

ふるさと歴史探訪

安部遺跡

安部遺跡

安部遺跡^{あべ いせき}は、尻屋崎灯台から南へ約5km、標高33mの海岸段丘上に位置する石灰岩の洞窟です。以前から、東通村周辺でナウマンゾウの骨が発見されていました。そのため、動物の骨だけでなく、人骨や石器などの人工物の有無を確認し、日本列島の旧石器時代の研究を総合的に進める目的で、本遺跡を対象とした慶應義塾大学による発掘調査が開始され、現在も続けられています。

日本列島の大半は、火山灰に覆われた酸性土壌であるため、動物の骨は溶解して残りにくいという特徴があります。しかし、尻屋崎一帯は、サンゴ礁が固結して形成された石灰岩地帯で、アルカリ性の土壌であることから、骨の保存状態が良好です。そのため、安部遺跡では旧石器時代のウサギの骨が多数出土しているほか、尻屋崎ではヒグマやヘラジカなどの骨も確認されています。

また、それらの動物を追って暮らしていた人類が残した石器も発見されており、約3万年前の台形型石器1点、約2万年前のナイフ型石器2点のほか、石器の可能性のある破片などが出土しています。一般的に旧石器時代の狩猟は、大型獣を槍で突くイメージがありますが、この遺跡の研究の成果から、ウサギなどの小型獣を罠や落とし穴を利用して狩猟していた可能性も考えられています。

安部遺跡は、もともと石灰岩が波の浸食を受けて形成された洞窟です。氷河期には現在よりも海面が低く、尻屋崎周辺はより広がりのある草原だったことから、ウサギをはじめとする動物の生息に適し、人類にとっても狩猟しやすい環境だったのかもしれませんが。

このような理由から、安部遺跡は、当時の人類の暮らしを知るうえで貴重な遺跡となっています。

●安部遺跡からの出土品
(慶應義塾大学所蔵)



石器



動物遺体



動物遺体の主体であったノウサギ属の歯(一部ネズミ属の歯も含む)

物見台1遺跡

尻屋埼灯台から南西約1.1km、津軽海峡に面した標高15mの海岸段丘上に位置しているのが、物見台1遺跡です。戦前から戦後にかけて石器が採集され、約1万6千年前から7千年前のナイフ型石器や搔器が出土しています。ナイフ型石器は毛皮の切断や槍先に用いられ、搔器は毛皮を製皮加工する道具だったと考えられています。戦後、北海道と本州の関係を探る考古学研究の中で下北半島は注目され、特に東通村からは旧石器時代の石器が多数見つかっています。調査の結果、旧石器時代という古い昔から、東通村には狩猟をしながら人が住んでいたという事実が分かりました。現代まで人の営みが連綿と続いていることは、地域として誇るべきことではないでしょうか。

本遺跡は青森県を代表する遺跡の一つであり、慶應義塾大学が所蔵する出土石器は、旧石器時代を象徴する貴重な資料であることから、青森県立郷土館が借用し2020年まで展示されていました。

●物見台1遺跡の石器
(慶應義塾大学所蔵)

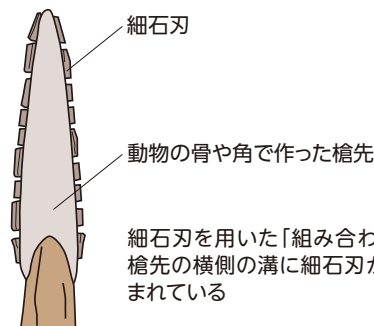


物見台1遺跡の旧石器
①～④ナイフ型石器 ⑤不定形型石器
⑥搔器

中野1遺跡

中野1遺跡は、「防衛省技術研究本部下北試験場」が所在する猿ヶ森砂丘内にあり、標高約5mの低位海岸段丘上に立地しています。発掘調査は行われていませんが、石器採集に関心を持っていた猿ヶ森在住の漁師・橋本喜一さんが、幼少期から長年にわたり砂丘表面から石器を採集し、慶應義塾大学の協力により年代などの分析が行われました。

中野1遺跡から彫刻刀型石器が2点、猿ヶ森砂丘からは細石刃が複数発見され、これらは旧石器時代のものと考えられています。細石刃はとても小さく、日本のみならずユーラシア大陸北東部に広く分布していますが、県内での出土例は少ないです。旧石器時代末期の約1万4千年前に日本へ広まり、骨や木に溝を刻んで差し込み、槍先や鎌のように用いられていたと考えられています。

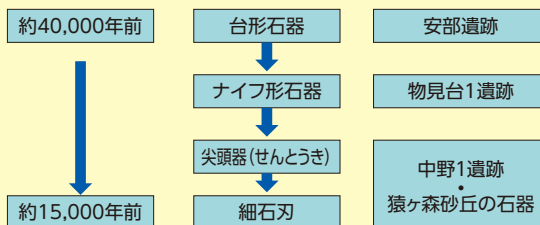


中野1遺跡から出土した彫刻刀型石器 猿ヶ森砂丘で見つかった細石刃等

これらの遺跡から、東通村では約3万年前から人々が狩猟生活を営んでいたことが伺え、当時の暮らしに思いをはせることができます。

旧石器時代の石器が比較的少ない青森県において、東通村には旧石器時代の4種類すべての石器が出土しており、時代の移り変わりを追って研究できる点で、東通村が誇る貴重な歴史的特徴といえます。

●旧石器時代の石器編年



東通村歴史民俗資料館

- 入館料／無料
- 開館日／月曜日～金曜日
- 開館時間／10時～15時
- 住所／東通村大字田屋字家ノ上29-2
TEL0175-33-2341(東通村教育委員会)



※調査等で不在の場合があるため、来館の際は事前に連絡を。土日などの休館日に入館を希望する場合は、日程調整の上、対応可となる場合あり。

明日への かけはし

東通村の頑張るグループを紹介

ユニークなパッケージで販売を促進！ [岩屋漁業協同組合婦人部]

あふれる笑顔とユニークなポーズ、そして心のこもったメッセージ！岩屋漁業協同組合婦人部は、そんな明るさを大切にしながら活動を続けています。

岩屋漁業協同組合婦人部は、組合員の奥さま方で結成され、現在の会員は30代から40代の6人です。1970年代、組合員が水揚げした規格外の魚を無駄にせず活用したいと考え、「さけとば」や「のしいか」に加工し販売を始めたのが、活動のきっかけでした。それ以来、さまざまな商品を展開。現在の主力商品は、「のしいか」と「のしたこ」。炭火で焼いた「いか」や「たこ」をのして袋詰めにしており、添加物は

使わず、潮風の旨みだけで仕上げた素朴な美味しさが特徴です。

現在婦人部では、青森県の「農山漁村女性組織活動モデル実証事業」の助成も活用しながら、精力的に活動しています。勉強会を開催し、自分たちの商品がどれだけ利益を生んでいるのか検証するとともに、販路拡大のため首都圏での販売を見据えた検討を実施。斬新な商品名・デザインがよいのでは？など議論を重ねた結果、昨年11月、商品名を「妻味(つまみ)」(組合員の「妻の味」に由来)とし、パッケージデザインもリニューアル。商品を手にしたお客さんから「本人



ていねいに「妻味」を作ります



和紙風の袋に婦人部の笑顔がユニークな新しいパッケージ



復活させた「田植え餅つき踊り」

ですか？」と声をかけられることもあるほど、好評を得ています。このほか、岩屋地区で



岩屋漁業協同組合婦人部のみなさん(後列真ん中が白濱部長)

10年前に少子高齢化のため途絶えていた「田植え餅つき踊り」を復活させ、サンロード青森(青森市)で開催された東通物産展で踊りを披露。大きな拍手を浴びました。活動の幅は、海産物の加工・販売のみに留まらず、地域のにぎわい創出や伝統の継承にも広がっています。

部長の白濱真由美さんは、「若手が入ったことで作業の効率も良くなり、活動がさらに楽しくなりました。部員同士が仲良く、和気あいあいとしています。今後は、「妻味」を別の魚を使ってシリーズ化したり、イカの不漁により休止していた「一夜干し」を復活させたいです。また、下北地域だけでなく、東京のイベントにも参加して、商品をもっとPRしていきたい」と意気込みを語っていました。

村内で元気に活動する人を紹介!

こんにちは 元気さん

ユニークな人が多い東通村
移住して本当に良かった!

元気さん

亀尾 喬さん(27歳)

2026年1月、東通村第一号の地域おこし協力隊を卒業し、現在、一般社団法人東通東風塾(ひがしどおりやませじゅく)の代表理事として村の買い物支援車「わんつCAR」の管理運営のほか、合同会社JAPPA(じゃっぱ)の代表社員を務めるなど、東通村の活発化に力を注ぐ、亀尾喬さんにお話を伺いました。

弘前市から東通村へ移住を決めたのは「弘前大学在学中、東通村で起業している先輩のもとを就職活動の相談で尋ねたとき、海をはじめとする大自然にひかれ、新しい環境で一次産業の将来に向けていろいろやってみたいと思ったのがきっかけです」と話す亀尾さん。

地域おこし協力隊の任期中は、移

動販売コーディネーターとして「わんつCAR」で村内を巡回。現在は、東通東風塾の代表理事として、仕入れやスケジュール管理など運営全般を担っています。利用者に喜んでもらえるよう、今年からは保冷車を導入し、品揃えや提供方法の工夫を重ねています。

また、村の若手漁師さんたちと話し合う中で、「何か新しいことに挑戦しよう」と立ち上げたのが、JAPPA。値段がつかない未利用・低利用の魚を有効活用するため、「青森県産業技術センター 下北ブランド研究所(むつ市大畑町)」に相談しながら、アジやサバなどの干物加工や、おつまみ向けの乾物開発に取り組んでいるところです。「やりたいことをみんなで積極的に進められるのが楽しい。チャレンジできる環境が整ったことがうれしく、今年度中には、1つでもアイデアを形にしていきたい」と意欲を見せます。

「わんつCARもJAPPAも、スタッフ一人ひとりにそれぞれの想いがあります。だからこそ、みんなで一緒に頑張りたい。移住して本当に良かったです。東通村に移り住み、地域や社会と触れあっている実感があります」とこれま



での活動を振り返ります。

最後に、「東通村にはおもしろい人が多い。事業やイベントを通して、村外や首都圏にも東通村が好きで関わってくれている人がたくさんいると実感しました。自分は周りの人の元気や活力に引っ張られて、やる気がどんどん湧いてきます。だからこそ、村の人にももっといろいろなことに挑戦してほしいです。これからも東通村のための取り組みを続け、何事にもチャレンジし、東通村の良さを皆さんと一丸となって広くアピールしていきたいです」と東通村への熱い気持ちを語っていました。



真剣に意見交換を行うJAPPAのメンバー



商工会青年部の副部長としても活躍



これ! うっまあ!!

東通村の美味しいものでカンタンクッキング

自然豊かな東通村には、素晴らしい特産品がそろっています。今回は、旬の食材を使って、地元ならではのちよびり贅沢な料理の作り方を、野呂先生に教えていただきました。



東通牛のんにくソース丼 4人分



〈材料〉

【ステーキ】

東通牛モモステーキ用2~4枚、塩小さじ1/2~、こしょう適量、小麦粉大さじ1~、牛脂1~2個、にんにく4かけ

【ソース】

しょうゆ大さじ3、酒大さじ4、ブルーベリージャム大さじ2、水大さじ4

【その他】

ごはん4人分、付け合わせ野菜(レタス2枚~、トマト・きゅうりなど適量)

〈作り方〉

①付け合わせ野菜を切って、器に盛り付けます。レタスは5mm幅のせん切りにします。



②牛肉に、塩とこしょうで下味をつけます。軽く小麦粉を振り、余分な粉は落とします。にんにく2かけはうす切り、2かけはすりおろします。

③フライパンをあたためて牛脂を溶かし、にんにくのうす切りを焼き、別皿に取ります。牛肉を30秒程度焼き、裏返してさらに焼き色を付け、好みの焼き加減で火を止め取り出します。



④牛肉を焼いたフライパンに、ソースの材料とおろしにんにくを入れてアルコールを飛ばすように加熱します。(牛脂が多ければ軽く拭く)

⑤器にごはんを盛り、レタスを散らします。③のステーキを食べやすく切つてのせ、上から④のソースをかけ、別皿に取っておいたにんにくを散らします。



ワンポイントアドバイス 牛肉は、加熱しすぎに気をつけましょう。

ブルーベリージャム 生サンド 4人分



〈材料〉

食パン8枚、生クリーム60g、クリームチーズ80g、ブルーベリージャム100g、ミントなど

〈作り方〉



①ボウルにクリームチーズを入れて常温にし、泡立て器でなめらかにかきまぜます。生クリームを加え、泡だて器の筋がつくようになるまで泡立てます。

②ゴムベラに変え、ブルーベリージャムを混ぜます。



③食パンの片面に②のクリームを塗り、2枚を合わせます。軽くなじませて好みの大きさにカットします。

ワンポイントアドバイス クリームをなめらかにするため、泡立てすぎに注意しましょう。

のるひろこ 〈野呂浩子先生のプロフィール〉

管理栄養士。むつ市で、ローズスイーツクリエイター青森認定校「ヒロ クッキングサロン」を運営。地元の旬の食材を生かし、美味しく栄養バランスの良い料理を作っています。自宅や出張での料理教室も行っています。

※ローズスイーツは、生の食材で作るスイーツのこと。生の食材を使うことで、その食材の持つ酵素をそのまま摂取でき、体にやさしいスイーツができます。

「灯台ワールドサミットin東通」が開催されます!



灯台2.0 — 灯台が、人と地域を導く時代へ —

2026
7.11 Sat → 12 Sun

1876年(明治9年)10月20日に初点灯した尻屋崎灯台は、2026年に点灯150周年を迎えます。これを記念し、灯台の価値を再発見、再定義する国際的なサミットが開催されます。

イベント内容

- 尻屋崎灯台特別参観(無料)
- 祝舞披露
- フォトコンテスト表彰式
- 世界の灯台からビデオレター
- 尻屋崎灯台150周年記念式典
- 灯台マルシェ
- パネルディスカッション

など

東北電力も協力
しています!



詳しくは、
公式ホームページを
ご覧ください。



※本内容は5月13日現在の予定であり、変更となる場合があります。また、一部の事前申し込み制のイベントについては、定員に達している場合があります。あらかじめご了承ください。

主催: 灯台ワールドサミットin東通 実行委員会

発行

東北電力(株)東通原子力発電所広報課
〒039-4293 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34番4
TEL0175-46-2225・FAX0175-46-2227



しおさい、PSつうしんの
バックナンバーはこちら



当発電所へのご意見・
ご要望をお寄せください

誌名「しおさい」について

★東通村で絶えることなく聞こえる心地よい波の音(しおさい)のように、皆さまの心に
未長く心地よく響き続ける広報誌でありたいという思いを込めています。

編集後記

しおさい第34号、いかがでしたでしょうか?
 いよいよ7月には「灯台ワールドサミットin東通」が開催されます。皆さんは尻屋崎灯台に登ったことがありますか?私は、過去に一度だけ登ったことがありますが、「とにかく絶景!」「でも、高くて怖い!」「意外と狭い!」と感じました。降りた後は、日ごろの運動不足のせいか足に力が入らず、寒立馬とのふれあいを十分に楽しめなかったほろ苦い思い出があります。(寒立馬とのふれあいは、後日リベンジ達成しました)
 今回のしおさいは、尻屋崎灯台の表紙絵からはじまり、「ふるさと歴史探訪」でも尻屋崎地区の遺跡を紹介しております。この1冊を通じて、尻屋崎の歴史について興味を持っていただくとともに、灯台ワールドサミットへ足を運ぶきっかけとしていただけたら、作り手としてとてもうれしく思います。
 今後も、東通村の皆さまに親しんでいただける誌面づくりに努めてまいりますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いたします。